

第十五回句会 俳句

【高点句】

☆磴のぼる落葉に足を沈めつつ

〈一馬〉

☆白杖の少女の肩へ紅葉散る

〈明美〉

☆掬いては散らす落葉や小さき手で

〈安津子〉

【各自一句】

・落葉蹴る夕日の映写影絵の子

〈莫院〉

・冬の滝人語拒みて轟けり

〈明美〉

・落葉踏む乾ききつたる音立てて

〈眞澄〉

・風走る木の葉なれども踏んばれり

〈撫子〉

・冬めくやぼつりぼつりと灯る窓

〈静〉

・冬浅し鉢取り入れて蘭談義

〈青蛙〉

・落葉踏む音アダージョの共白髪

〈安津子〉

・黄落や泣きやまぬ子を抱き上げて

〈きさ〉

・コースより離れてみたき紅葉径

〈一馬〉

・落葉風ふとかばいたり傷の痕

〈千恵〉

・交差点落ち葉のごとくすれちがう

〈童心〉

*以上、33句(3句ずつ11名) より、選句は13名による

*高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第三位の句迄)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による